



リサイクル。それは限らない価値創造です。

# 個人投資家向け説明会

---

2026年7月31日

株式会社大紀アルミニウム工業所

(東証プライム市場 証券コード:5702)





リサイクル。それは限りない価値創造です。

株式会社大紀アルミニウム工業所は、無限にリサイクルできるアルミニウムに着目し、日本ではじめてアルミの再生・製錬を開始しました。

わたしたちはアルミニウム二次合金のパイオニアとして、リサイクルを通じた価値創造を続けています。

アルミニウムを中心に、循環型社会の構築を目指す、大紀アルミについてご紹介いたします。



- ◇ 01 大紀アルミについて
- ◇ 02 事業内容／領域
- ◇ 03 業績の状況
- ◇ 04 配当、株価の状況
- ◇ 05 成長戦略

## 01 大紀アルミについて

## 02 事業内容／領域

## 03 業績の状況

## 04 配当、株価の状況

## 05 成長戦略



世界とリンクするGlobalな視点と活動。  
地球環境と向き合うGreenの理念と実践。「事業」と「環境」を同軸にとらえ、  
地球が求める真の企業へと成長していきます。

## 社是

一. 誠実    一. 独創    一. 親和

## 経営方針

より良い商品    より安い価格    より良いサービス

## 行動指針

常にお客様を第一とし、お客様のことは何よりも先に真心をこめて、解決しよう  
常に現場主義を貫き、力を合わせて連携プレーに徹しよう  
常に当事者として問題意識をもち、事実に基づいてPDCAを徹底しよう



# 会社概要



リサイクル。それは限らない価値創造です。

|           |                                                                             |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 社 名       | ： 株式会社大紀アルミニウム工業所<br>／ Daiki Aluminium Industry Co., Ltd.                   |
| 本 社 所 在 地 | ： 大阪市北区中之島3丁目6番32号 ダイビル本館15階                                                |
| 代 表 者     | ： 代表取締役社長執行役員 林 繁典                                                          |
| 創 業 ／ 設 立 | ： 1922年11月23日／1948年10月29日                                                   |
| 従 業 員 数   | ： (連結)1,275名(単体)326名 ※2026年3月末時点                                            |
| 事 業 内 容   | ： アルミニウム二次合金地金製造・販売、アルミニウムダイカスト製品製造・販売<br>溶解炉及び関連設備、機器、溶解システム等の設計・製作・販売、補修  |
| 事 業 所     | ： 本社、支店(東京、名古屋)、テクニカルセンター、工場(亀山、滋賀、新城、結城、<br>白河)、ロシア代表事務所                   |
| 関 係 会 社   | ： 国内関係会社 6社<br>海外関係会社 18社(アメリカ、インド、インドネシア、タイ、中国、<br>フィリピン、ベトナム、マレーシア、バーレーン) |

## 国内



創業当時の工場(大阪市浪速区)

1922年 わが国で、はじめて二次アルミニウム製錬業を 初代社長 山本繁一が大阪市において創業

1948年 大紀アルミニウム工業所設立 社名は1922年の創業地(大阪)と創業者出身地(紀州)に由来

1957年 研究室(現:テクニカルセンター)開設

1960年～ 結城工場操業開始  
大博アルミニウム工業(現 九州ダイキアルミ)子会社化

1970年～ 新城工場操業開始  
エンジニアリング事業開始  
越村アルミ工業所(現 北海道ダイキアルミ)子会社化

1980年～ 亀山工場操業開始  
ダイキメタル(現 ダイキマテリアル)設立

1990年～ 白河工場操業開始  
Can to Can事業開始

2000年～ 溶湯供給事業開始  
ダイカスト事業開始  
聖心製作所子会社化  
滋賀工場操業開始  
ダイキエンジニアリング設立

2010年～ 東京アルミセンター子会社化  
サッシ to サッシ事業開始

2020年～ 創業100周年  
本社移転



創業者 山本繁一

# 国内ネットワーク



リサイクル。それは限りない価値創造です。



## 海外

2020年～ ベトナム現地法人 Nguyet Minh 2 Daiki Aluminium Tse Co., Ltd に出資  
タイ現地法人 Delta Daiki Metal (Thailand) Co., Ltd. に出資  
バーレーン現地法人 Alba-Daiki Sustainable Solutions W.L.L に出資

2010年～ 中国現地法人 大紀(佛山)経貿有限公司 に出資  
インドネシア現地法人 PT. Daiki Aluminium Industry Indonesia 設立  
タイ現地法人 Seishin (Thailand) Co., Ltd. 設立  
フィリピン現地法人 Daiki OM Aluminium Industry (Philippines), Inc. 子会社化  
タイ現地法人 Kyowa Casting(Thailand) Co., Ltd. に出資  
インドネシア現地法人 PT. Daiki Trading Indonesia 設立  
ベトナム現地法人 Daiki Aluminium Vietnam Co., Ltd. 設立  
インド現地法人 Daiki Aluminium Industry India Pvt., Ltd. 設立

2000年～ ロシア駐在員事務所開設  
タイ現地法人 Daiki Engineering Thai Co., Ltd. 設立  
中国現地法人 上海大紀新格工業炉有限公司(現 大紀(上海)工業炉技術有限責任公司) 設立  
香港現地法人 翔能貿易(現 大正金属(控股)有限公司) に出資

1990年～ マレーシア現地法人 AA&A社(現 Daiki Aluminium Industry (Malaysia) Sdn. Bhd.) に出資  
タイ現地法人 Daiki Nikkei Thailand(現 Daiki Aluminium Industry (Thailand) Co., Ltd.) に出資

1987年 アメリカ現地法人 Daiki International Trading Corporation 設立

# 海外ネットワーク



リサイクル。それは限りない価値創造です。



大紀(佛山)経貿有限公司



大正金属(控股)有限公司



大紀(上海)工業炉技術有限責任公司



Daiki International Trading Corporation



Daiki International Trading Corporation Atlanta Office



Nguyen Minh 2 Daiki Aluminium Tse Co., Ltd.



Daiki Aluminium Vietnam Co., Ltd.



Daiki OM Aluminium Industry (Philippines), Inc.



Daiki Aluminium Industry (Malaysia) Sdn. Bhd.



PT. Daiki Aluminium Industry Indonesia  
PT. Daiki Trading Indonesia



Delta Daiki Metal (Thailand) Co., Ltd.



Daiki Aluminium Industry (Thailand) Co., Ltd. Amata City Plant



Daiki Aluminium Industry (Thailand) Co., Ltd.



Seishin (Thailand) Co., Ltd.



Kyowa Casting (Thailand) Co., Ltd.



Daiki Engineering Thai Co., Ltd.



Daiki Aluminium Industry India Pvt., Ltd.



Alba-Daiki Sustainable Solutions W.L.L.



Russia Representative Office

01 大紀アルミについて

02 事業内容／領域

03 業績の状況

04 配当、株価の状況

05 成長戦略

# アルミニウムとは アルミニウムの特性

リサイクル。それは限らない価値創造です。

「リサイクルの優等生」 アルミニウムは多くの特性をもつ

軽い



サビに強い



加工しやすい



リサイクルしやすい



毒性がない



その他の多くの特性



強い



磁気を帯びない



熱伝導がよい



低温に強い



光や熱を反射する

# アルミニウムとは 身近なアルミ製品

アルミニウムはわたしたちの身近なところで使われている



# バリューチェーンマップ



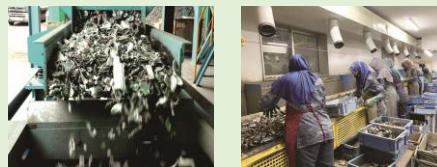
リサイクル。それは限りない価値創造です。

## 川上から川下まで、アルミニウムリサイクル事業を展開

### 集荷



### 選別・処理



- 原料事業
- 合金事業
- ダイカスト事業

### 廃棄



### 使用



### 溶解・鋳造



### ダイカスト



# 原料事業 アルミスクラップとは

## さまざまな金属が混在する多種多様なスクラップ



合金類



サッシ類



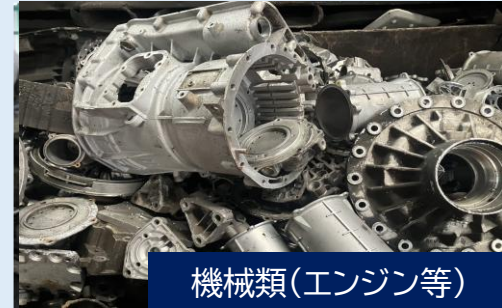
混ガラ類(ナベカマ)



インゴット類



缶プレス



機械類(エンジン等)



ドライ粉類



機械クラッシャー類



ホイール屑

# 原料事業 リサイクル原料選別



リサイクル。それは限らない価値創造です。

高度な技術であらゆる金属に選別し販売。アルミは合金事業へ



# 原料事業 リサイクル原料選別



リサイクル。それは限らない価値創造です。

## サッシからサッシ、飲料缶から飲料缶・・・水平リサイクルを推進

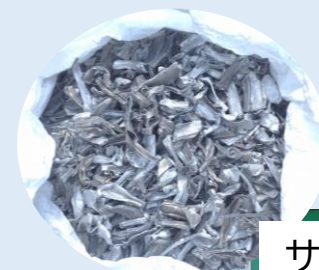


建築解体屑

.....→  
投入



.....→  
選別



サッシ原料

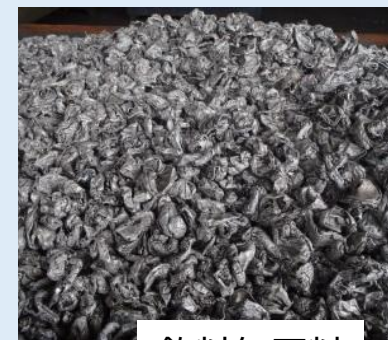


使用済飲料缶

.....→  
投入



.....→  
焙焼



飲料缶原料

# 合金事業 アルミニウム二次合金とは



リサイクル。それは限らない価値創造です。

工場や市中から発生したスクラップを溶解し、再生地金へ  
二次合金の需要の約8割は自動車向け



ダイカスト・鋳物用 インゴット



ダイカスト・鋳物用 溶湯



飲料缶用



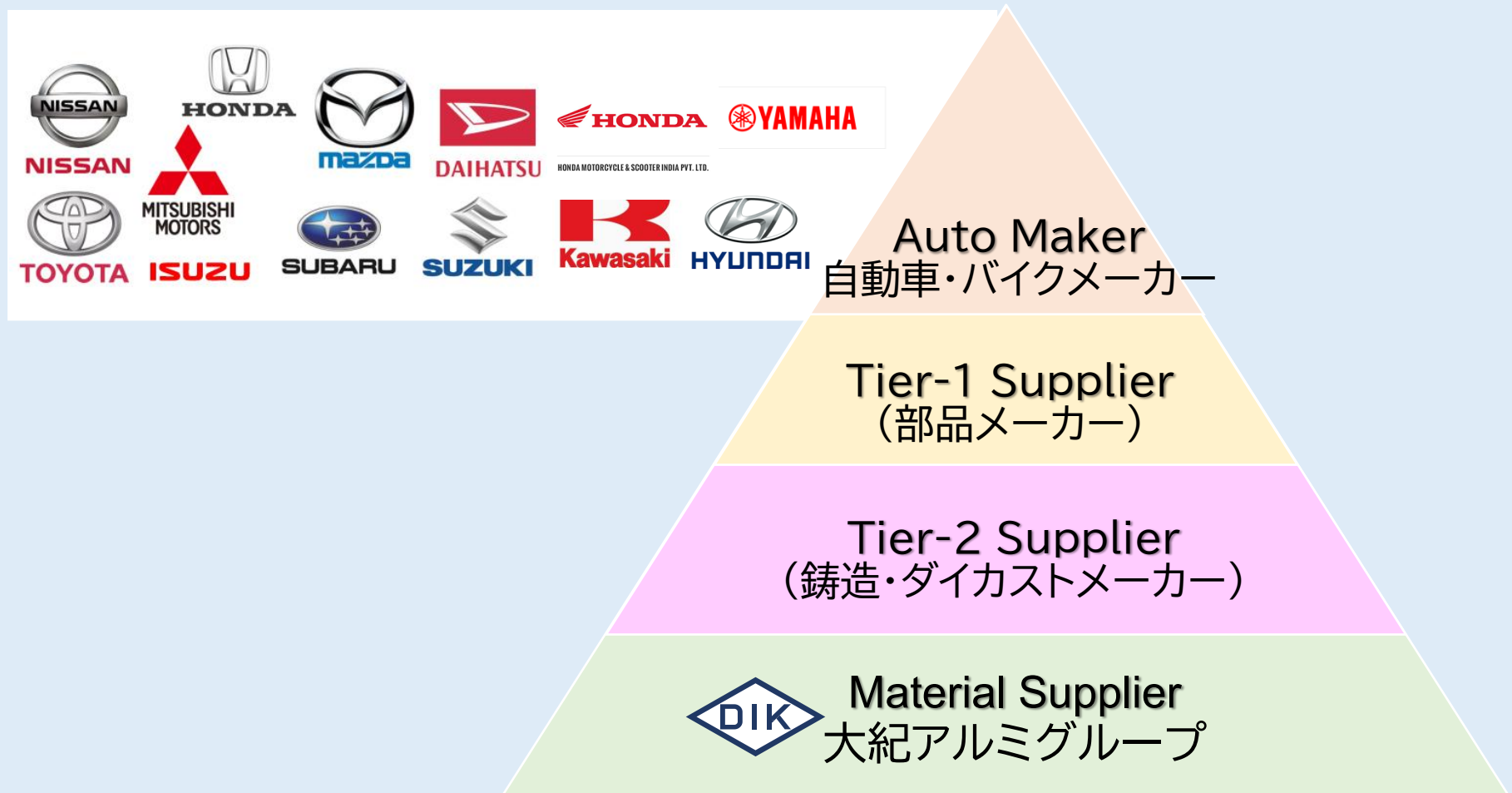
サッシ用

# 合金事業 アルミニウム二次合金とは

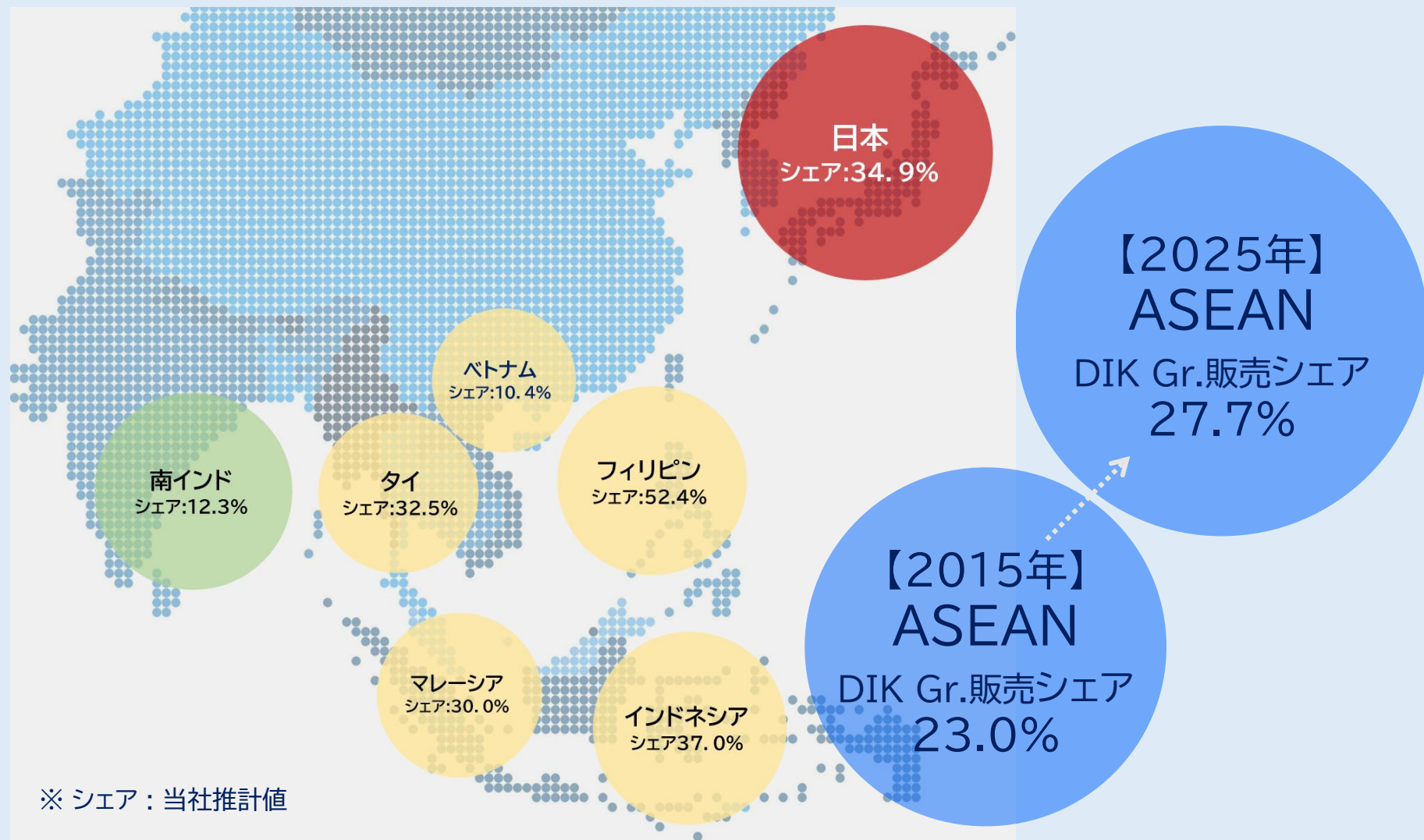


リサイクル。それは限らない価値創造です。

国内の自動車の約3台に1台は、エンジン部品、シリンダーヘッド、ホイール、ボディパネルなどに当社二次合金が使用されている



## 日本、及び東南アジアでトップクラスのアルミ二次合金販売量



# 合金事業 アルミ二次合金溶解・鑄造工程



リサイクル。それは限りない価値創造です。

スクラップを溶かし、用途に応じた合金規格になるよう、  
成分を調整し、地金として再生



原料  
受入



選別



前処理



原料  
投入



出荷



梱包



保温



溶解  
精製  
鑄造



## アルミ二次合金を輸入、販売するトレーディングビジネスも展開

### アルミ二次合金 輸出入の流れ



# ダイカスト・エンジニアリング事業

ダイカスト事業を2拠点、エンジニアリング事業を5拠点で展開



ダイカスト事業

隣接工場から供給される  
アルミニウム溶湯を使用し、  
四輪を中心としたダイカス  
ト部品を鋳造・加工・組立



エンジニアリング事業



ダイカスト・鋳物用合金の溶解炉・保持炉を  
設計製造、販売

01 大紀アルミについて

02 事業内容／領域

03 業績の状況

04 配当、株価の状況

05 成長戦略

# 2026年3月期決算



リサイクル。それは限らない価値創造です。

## 2026年3月期決算のポイント

- ・アルミ相場の上昇
- ・四輪車生産をはじめとする底堅い国内需要
- ・海外子会社の業績回復

売上高 3,311億円

営業利益 72億円

経常利益 56億円

親会社株主に帰属する

当期純利益 36億円

ROE  
4.9%

自己資本  
比率  
42.9%

D/Eレシオ  
1.0

# 事業別構成比率

## 合金事業

売上高構成 81.8%  
営業利益構成 79.0%

アルミニウムスクラップを再溶解し、お客様のニーズに合わせて最適な成分に調整  
その後、精錬・鑄造工程を経てアルミニウム再生地金へと生まれ変わる



ダイカスト・鑄物用合金の溶解炉・保持炉を設計製造、販売

## エンジニアリング事業

売上高構成 1.0%  
営業利益構成 0.1%

## 原料事業

売上高構成 16.0%  
営業利益構成 14.7%

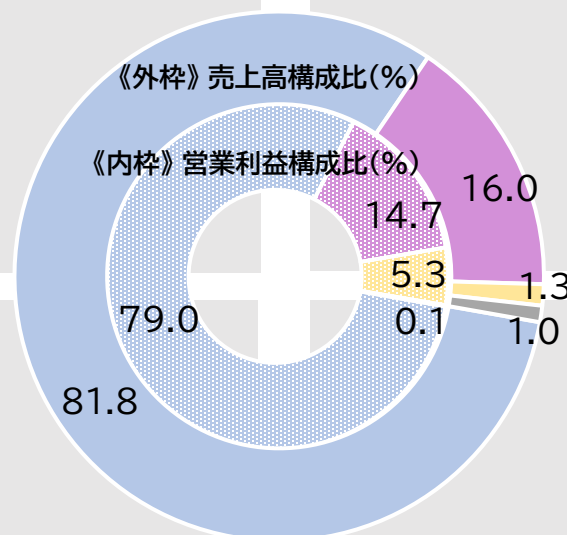
世界中に張り巡らされたネットワークで集荷し、様々な金属が混在する  
スクラップを高度な選別技術であらゆる金属に仕分け、グループ内外に供給



グループ内で製造されたアルミニウム再生地金・溶湯を使用し、  
四輪を中心としたダイカスト部品を鑄造・加工・組立

## ダイカスト事業

売上高構成 1.3%  
営業利益構成 5.3%

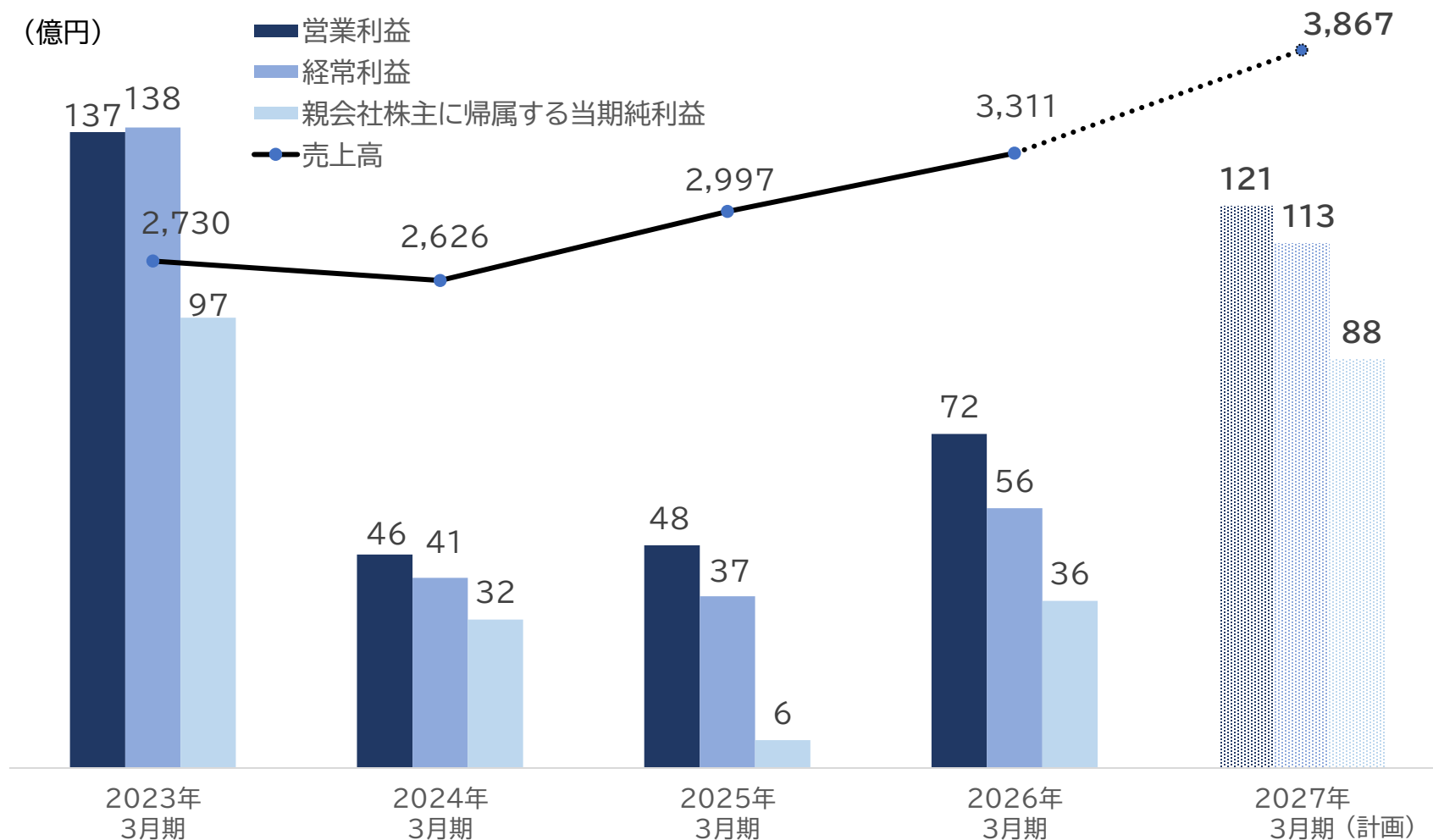


# 業績推移



リサイクル。それは限らない価値創造です。

- ・2026年3月期売上高は、3,000億円を突破
- ・2027年3月期売上高は、過去最高となる予想
- ・海外子会社の業績が回復基調にあることから、利益面においても増加傾向



01 大紀アルミについて

02 事業内容／領域

03 業績の状況

04 配当、株価の状況

05 成長戦略

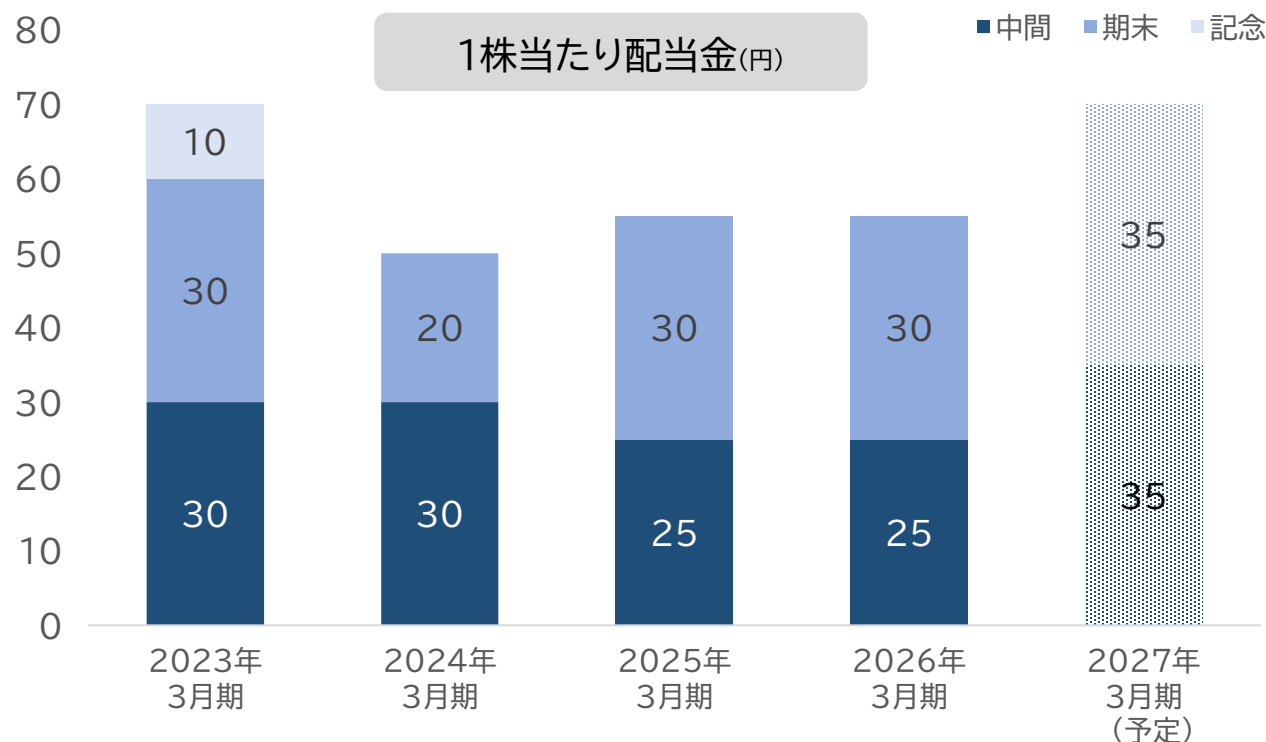
# 配当の状況



リサイクル。それは限らない価値創造です。

## 株主還元方針

- ・株主に対する継続的かつ安定的な利益還元を目指す
- ・連結配当性向 30.0%程度、DOE 3.0%程度



連結配当性向

30.0%  
程度

DOE  
3.0%  
程度

|              |       |       |        |       |   |
|--------------|-------|-------|--------|-------|---|
| 配当性向<br>(連結) | 29.2% | 62.4% | 314.7% | 59.1% | — |
| DOE<br>(連結)  | 4.5%  | 2.9%  | 3.1%   | 2.9%  | — |

# 資本コストや株価を意識した経営

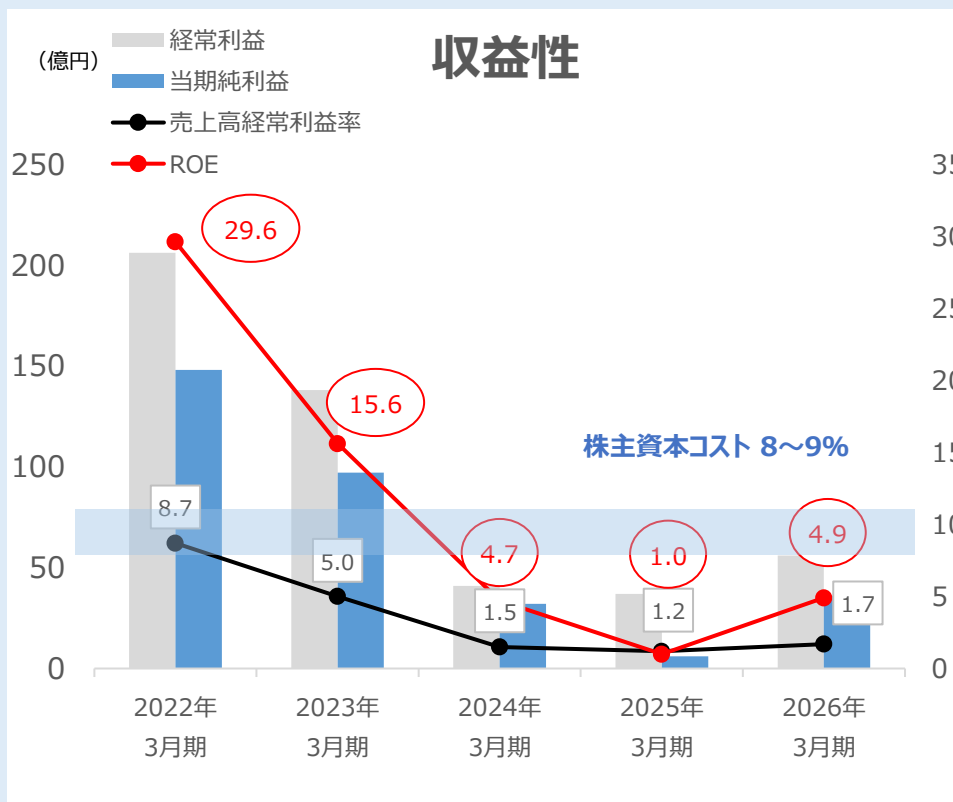


リサイクル。それは限りない価値創造です。

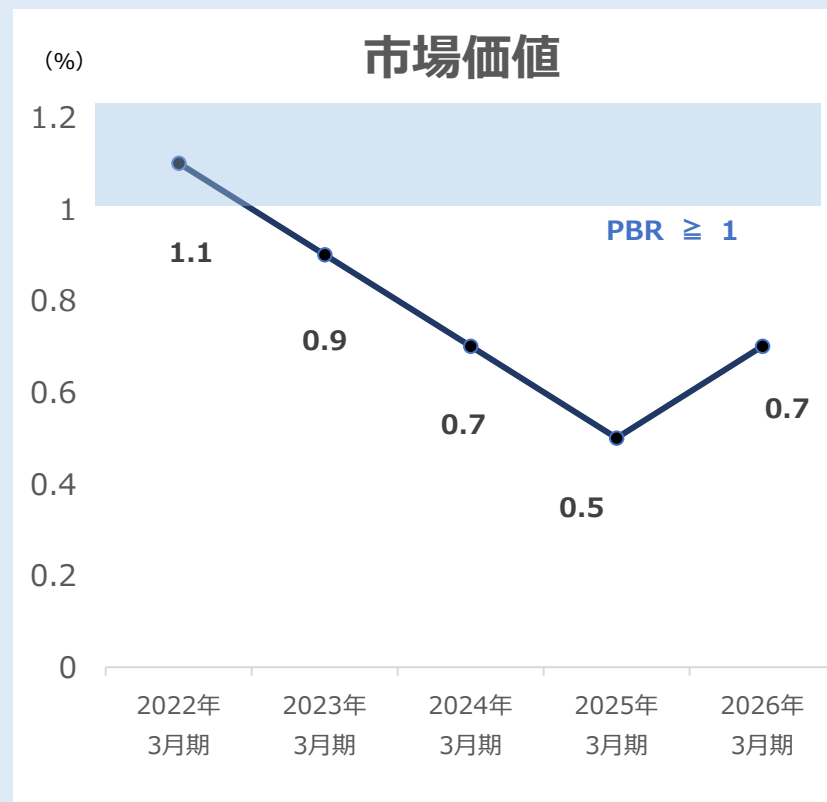
## 現状分析及び継続的な取り組み

- ・ROEは近年5%前後で推移 ⇒ コア業務強化による拡販・原料の高付加価値化など
- ・PBRは1倍を下回っている ⇒ 安定的な利益還元・投資家との対話機会の創出など

### ROE



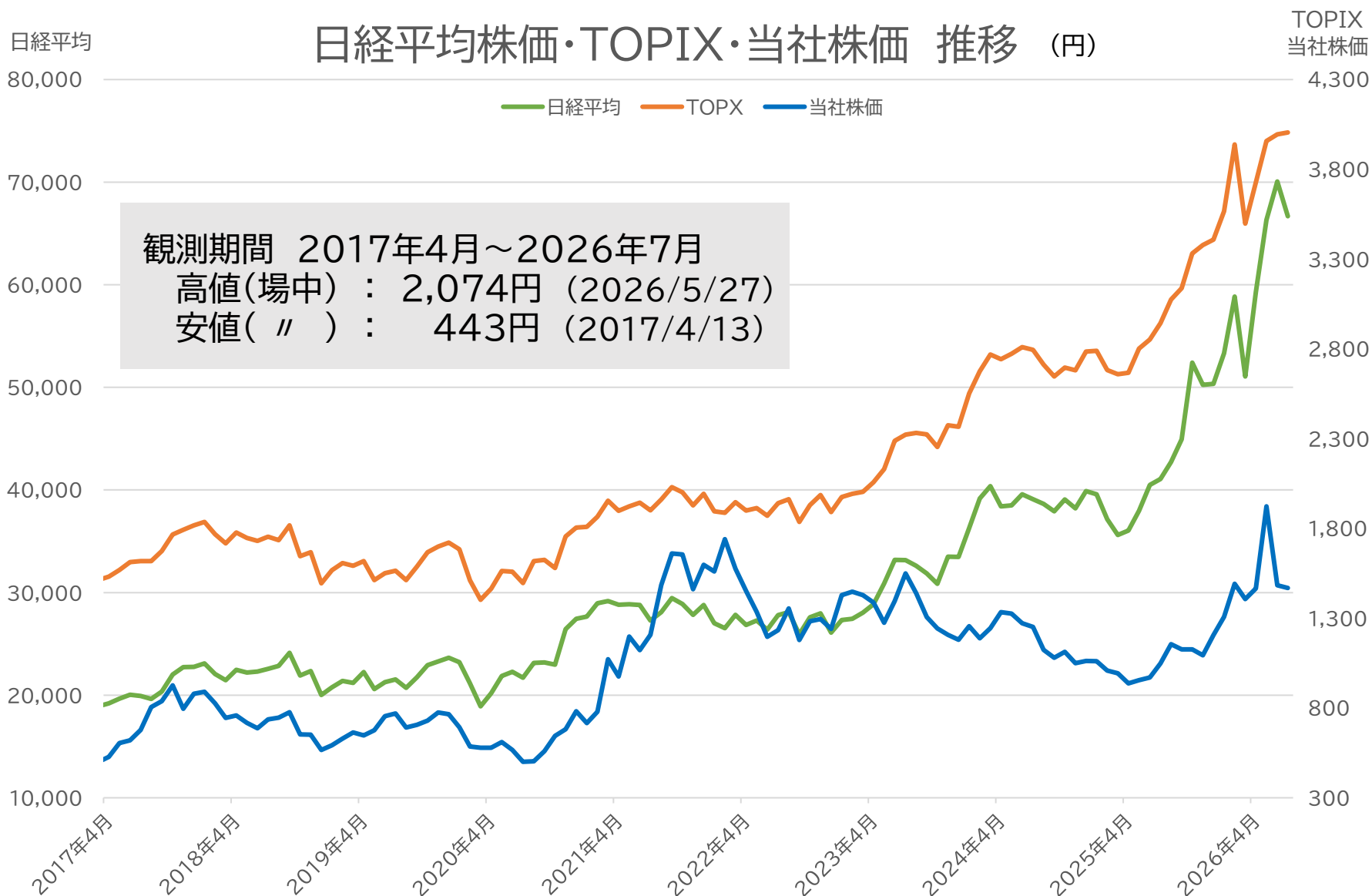
### PBR



# 株価の推移



リサイクル。それは限りない価値創造です。



- ◇ 01 大紀アルミについて
- ◇ 02 事業内容／領域
- ◇ 03 業績の状況
- ◇ 04 配当、株価の状況
- ◇ 05 成長戦略

# 2030年目指す姿に向けて

## 循環型社会への貢献

- 「新塊からリサイクル原料へ」需要に適合するリサイクル合金の開発・供給
- 電動化部品、大型部品に対応する素材の開発、供給
- 「スクラップ回収から製品まで」リサイクルループ確立
- リサイクル原料選別技術、システムの構築

2030年目指す姿  
**VISION2030**  
**DAIKI∞NEXT∞**

## ステークホルダーを重視した 企業経営、企業価値の創造

中期経営計画【第2次】  
2024▶2025▶2026

## 堅実・健全、透明性の高い経営

## カーボンニュートラルへの貢献

- 二酸化炭素排出量30%削減(2019年度比)
- 製造工程で発生する廃棄物の100%リサイクル化

## 地域社会との共生

- 成長著しい新興国における雇用創出
- 地域社会との交流と貢献

## 長く働き甲斐を感じる会社

- より効率的な作業環境構築＝攻めのDX
- より安全な作業環境構築＝守りのDX
- 女性やグローバル人材の活躍と経営参画

柱Ⅰ 成長分野への投資

柱Ⅱ 経営基盤の強化

柱Ⅲ 環境保全

柱Ⅳ 地域や社会の貢献と発展

柱Ⅴ 人材の育成と活用

# 成長戦略 リサイクル合金の開発・供給



リサイクル。それは限らない価値創造です。

## アルミ二次合金需要の拡大 軽量化ニーズへの対応

### 軽量化が進む電動車に適したアルミニウム合金の開発

バッテリー搭載の電動車は、航続距離を延ばすため車体の軽量化が不可欠

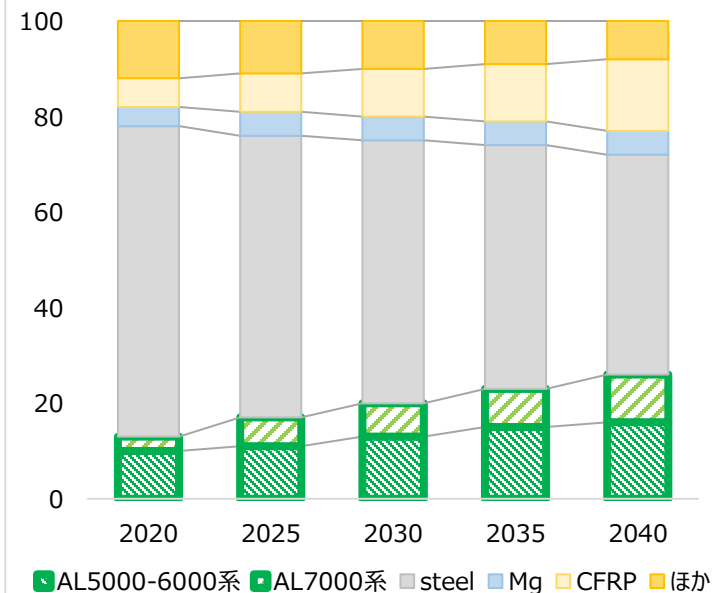
⇒ 鉄などの異素材からアルミへの置き換え  
重量の7割を占める鋼材に変わって、ボディパネル材のほか、サブフレームやバッテリーケースなど、アルミの適用部位が増え、使用比率が高まると予測



軽い



自動車ボディ向け材料使用率  
(%/予測)



※日本アルミニウム協会 自動車アルミ化委員会のデータをもとに当社作成



# 成長戦略 リサイクル合金の開発・供給



リサイクル。それは限らない価値創造です。

## アルミ二次合金需要の拡大 CO<sub>2</sub>削減ニーズへの対応

カーボンニュートラルを進めるユーザーへ、リサイクル原料を使用したアルミニウム合金の提供

アルミニウムは新地金製造時に多くのCO<sub>2</sub>が発生する

⇒ 使用原料を「新地金」から「スクラップ＝リサイクル原料」に置き替える動きが加速

既存の部品であっても、二次合金の使用量が増えると予測



規格・成分を充足する当社開発合金採用部品 例

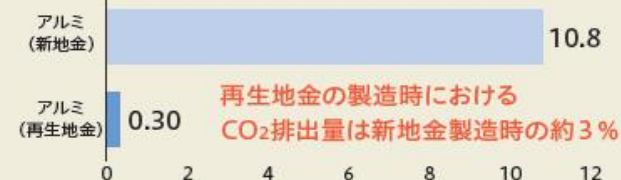
## リサイクルしやすい



### アルミニウム新塊(新地金)の製錬工程



CO<sub>2</sub>排出原単位  
(単位:t-CO<sub>2</sub>/t)



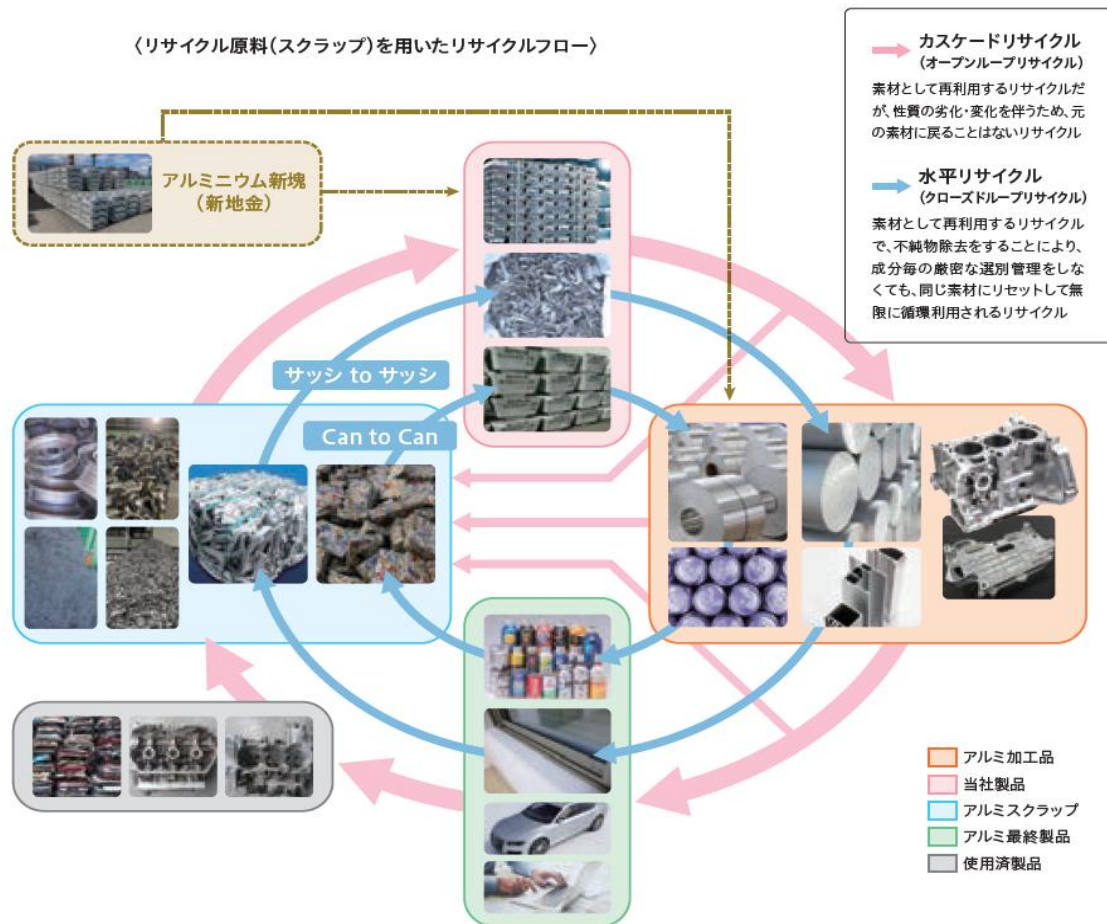
## サーキュラーエコノミー = 水平リサイクルへの対応

カーボンニュートラルを進めるユーザーへ、使用原料のリサイクル比率を向上

リサイクルしやすい



〈リサイクル原料(スクラップ)を用いたリサイクルフロー〉



リサイクル率の向上を目指し、展伸材メーカーはスクラップ使用を推進

⇒ スクラップ選別技術の高度化が求められる

水平リサイクル、アップグレードリサイクル、ハイアップグレードリサイクルの流れが加速すると予測

# 成長戦略 アルミドロス(灰)の再資源化



リサイクル。それは限りない価値創造です。

## 廃棄物ゼロをめざして～ZERO WASTE SCHEME～

環境意識が高まる中、廃棄物として処理されていたアルミ灰を再資源化、鉄鋼メーカーへ有価物として販売

アルミ溶解工程で発生するアルミドロス(灰)を、最終廃棄するのではなく、大紀の灰処理技術を活用し、鉄鋼業界へ。

鋼材の溶解工程でこのドロス(灰)を昇熱材として使用することにより、鉄鋼メーカー側でも、省エネ効果が期待できる



鉄鋼メーカー向けアルミ灰(出荷の様子)



ドロス処理設備

## 事業活動を通じ、社会の持続的な発展に向けて取り組んでいます



アルミ缶のリサイクル勉強会、工場見学開催  
(日本・白河工場)



ブランコやシーソーなど遊具を小学校へ寄付  
(インド)



洪水被害に見舞われている方々に緊急支援物資を寄付  
(インドネシア)



食品や生活必需品の寄付、リサイクル勉強会実施  
(マレーシア)

## 将来見通しに関する注意事項

---

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は当資料に含まれる情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

---

お問い合わせ先      株式会社大紀アルミニウム工業所 管理部  
<https://www.dik-net.com/contact/>

# 質疑応答



リサイクル。それは限りない価値創造です。

**1. アルミニウム二次合金の国内販売シェア1位**  
国内自動車の約3台に1台は当社製品が使用

**2. 循環型社会の構築に貢献**

アルミニウム二次合金はカーボンニュートラル  
社会の実現に不可欠の金属素材

**3. 自動車産業の発展とともにグローバルネット  
ワークを構築**

東南アジア、インドを中心に世界へ展開中